

September 28, 2020

【前日の為替概況】リスク回避でドル続伸、対円 105.70 円、対ユーロ 1.1612 ドル

25日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反落。終値は1.1631ドルと前営業日NY終値(1.1672ドル)と比べて0.0041ドル程度のユーロ安水準。欧州で新型コロナウイルス感染が再拡大するなか、行動制限の強化による景気回復の遅れが懸念されてユーロ売り・ドル買いが先行。欧州株相場や時間外のダウ先物の下落に伴うリスク・オフのドル買いも優勢となり、一時1.1612ドルと7月24日以来約2カ月ぶりの安値を付けた。金や原油など商品相場下落を背景に、資源国通貨に対してドル高が進んだ影響も受けた。主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時94.74と7月24日以来約2カ月ぶりの高水準を付けた。

NY午後に入ると米国株相場が上昇したことでリスク・オフのドル買いが後退。本日安値圏ながら一時1.1635ドル付近まで下げ渋る場面があった。

ドル円は上昇。終値は105.58円と前営業日NY終値(105.41円)と比べて17銭程度のドル高水準。欧州株相場下落を受けてリスク・オフのドル買いが先行。アジア時間の高値105.54円を上抜けると一時105.70円まで上値を伸ばした。コモディティ価格下落を背景に、資源国通貨に対してドル高が進んだ影響も受けた。市場では「本日のNYカット(日本時間23時)行使期限のオプションが105.50円に観測されていたが、NYカットを過ぎたことで値が軽くなり上サイドに振れた」との声が聞かれた。

買い一巡後はやや上値が重くなった。安く始まったダウ平均が一時420ドル超上昇したことで、リスク・オフのドル買いが後退し105.55円付近まで下押しした。

ユーロ円は反落。終値は122.88円と前営業日NY終値(123.04円)と比べて16銭程度のユーロ安水準。20時過ぎに一時122.61円と日通し安値を付けたものの、NYの取引時間帯に入るとドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、相場はもみ合いの展開となった。

【本日の東京為替見通し】ドル円、リスク選好(NY株高・金利低下)地合いで伸び悩む展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、リスク選好(NY株高・米金利低下)地合いで伸び悩む展開が予想される。

本日の東京市場では、重要な経済指標や要人発言の予定がないことで、東京や上海の株式市場の動向を睨みながら、本日からの英・EU通商交渉の第9ラウンドや明日の第1回米大統領候補討論会を待つ展開が予想される。

ドル円の注文状況は、上値には、105.70-80円には断続的にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、105.90円と106.00円にもドル売りオーダーが控えている。下値には、105.20円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

ドル円のテクニカル分析では、陰線新安値5手で一目均衡表・雲を下抜けて下落トレンドを形成した後、104.00円まで下ヒゲを伸ばした切り込み線、5手連続陽線で反発しているものの、攻防の分岐点である雲の下限105.97円に届いていないこと、遅行スパンも逆転したままであることで、綾戻しの可能性が示唆されている。

トランプ米大統領は、18日に逝去したリベラル派のルース・ベイダー・ギンズバーグ判事の後任人事として、シカゴの連邦高等裁判所で判事を務める保守派の女性判事エイミー・コニー・バレット氏を指名した。バレット氏が承認された場合、中西部のカトリック票を確保でき、ラストベルト(中西部地域と大西洋岸中部地域の一部にわたる脱工業化が進んでいる地帯)や五大湖周辺州での巻き返しが期待できることになる。トランプ米大統領が目論んでいるように11月3日の米大統領選挙前に上院で承認された場合、米連邦最高裁判事9名中、保守派が6名(※3名がトランプ米大統領指名)、リベラル派が3名となる。トランプ米大統領が最高裁判事の承認を急ぐ理由は、米大統領選挙が、2000年の「ゴア対ブッシュ」のように接戦となる可能性、郵便投票の合法性が問題となる可能性などから、最終的な当落判断が最高裁に持ち込まれる可能性が高まっていることによる。上院司法委員会は、10月12日からバレット氏指名承認の審議を開始し、10月26日週には、本会議採決の予定(※共和党53対民主党45、無所属2)と報じられている。しかしながら、バイデン民主党大統領選候補は、大統領選挙後の指名・承認を要請しており、最高裁判事の人事を巡る共和党と民主党の対立が、現在難航している新型コロナ景気対策法案の協議をさらに難航させる可能性を高めている。明日、第1回大統領候補討論会が開催されることで、要注目となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○14:00 ◇ 7月景気動向指数改定値

<海外>

○18:30 ◇ 8月南アフリカ卸売物価指数 (PPI、予想：前月比 0.4%/前年比 2.1%)

○18:45 ◎ シュナーベル欧州中央銀行 (ECB) 専務理事、講演

○20:00 ◇ 8月メキシコ貿易収支 (予想：40.50 億ドルの黒字)

○20:00 ◇ 8月メキシコ失業率 (季節調整前、予想：5.8%)

○22:45 ◎ ラガルド ECB 総裁、議会証言

○23:00 ◎ ベイリー英中銀 (BOE) 総裁、講演

○29日 03:00 ◎ メスター米クリーブランド連銀総裁、講演

○ニュージーランド (NZ) は夏時間に移行済み

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

25日 16:14 ビルワードガロー仏中銀総裁
「インフレは我々が望むところにまだ達していない」
「必要なだけ行動するという我々の決意には疑いの余地はない」
「ECBは将来の行動のためにフリーハンドを持っている」
「ECBがFRBの戦略に従うだけだと思えないでほしい」

25日 20:40 英首相報道官
「ここ数週間でEUと有益な意見交換があった」
「EUとの通商合意に向けて熱心に取り組んでいる」
「必要なら新型コロナの規制を強化する」

25日 23:43 ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁
「景気回復の途上にあるが、先行きは不透明であり不完全で不安定」

26日 00:43 カーン・ロンドン市長
「首相に、スコットランドやウェールズなどですでに課されている異なる家族間の交流禁止を求めた」

26日 00:48 英・欧州連合離脱担当者
「合意の結果を導き出すのが可能であるにせよ、多くのすべきことが残されている」

26日 01:04 スペイン健康相
「マドリードのロックダウンを望む」

28日 06:09 デコス・スペイン中銀総裁
「大幅な金融刺激策は継続すべき」
「インフレ率はECBの目標を大きく下回ると予想され、最近のユーロの為替レートは安心の余地がない」

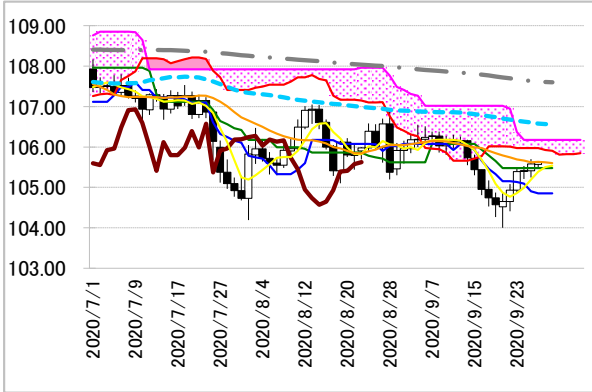
28日 06:07 ビスコ伊中銀総裁
「インフレ率がすでに低くなっている時期に物価をさらに押し下げることになるため、ユーロの最近の上昇は懸念材料」
「物価安定目標を危うくするならば、我々は為替介入しなければならないだろう」

28日 06:03 マーチン・アイルランド首相
「国内市場法案はこれまで締結されてきた協定の信頼性を損なっている」
「英国は合意なきブレグジットに向かっている」

28日 07:01 トランプ米大統領
「大統領選にもし勝てなかった場合、友好的な政権移行が実施される」
「最高裁判事候補のバレット氏と選挙について議論していない」
「税払いの記録について、NYタイムズの報道はフェイクニュース」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

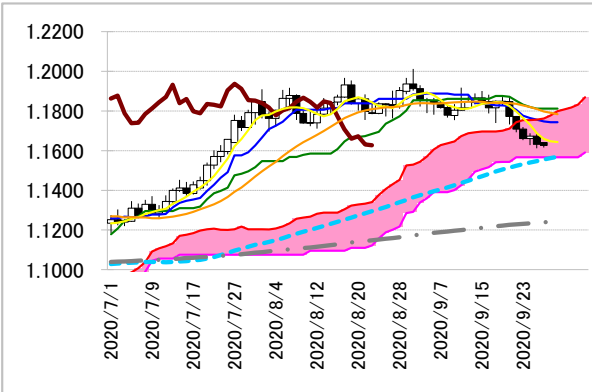


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、陰線新安値5手で下落した後、5手連続陽線で転換線を上回って引けており、綾戻しの可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.97(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.58
サポート1	104.85(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	104.41(9/22 安値)

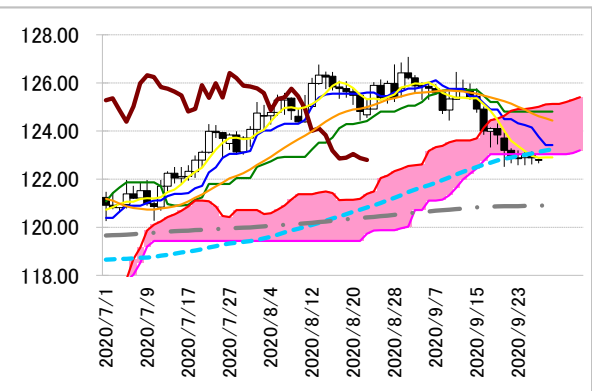


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。高値圏での逆行現象、陰線新安値9手で転換線を下回っていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1747(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1631
サポート1	1.1567(日足一目均衡表・雲の下限)

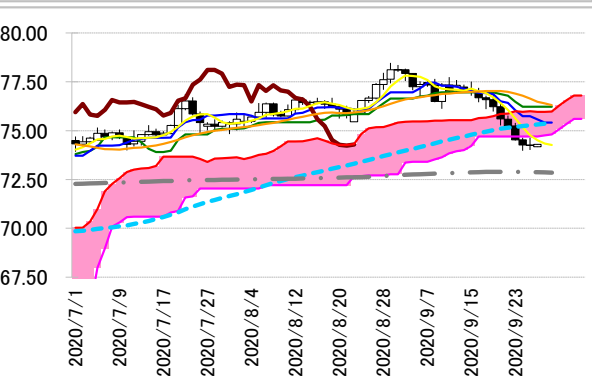


<ユーロ円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。孕み線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	123.77(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	122.88
サポート1	122.52(9/21 安値)



<豪ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。10手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.58(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	74.24
サポート1	73.31(6/26 安値)

